

シグマ研究委員会光核反応データWG 1993 年度第 2 回会合議事録

日時：1994 年 3 月 23 日 (金) 13:30 - 16:30

場所：原研本部会議室

出席者：浅見、五十嵐、岸田、小林、千葉、村田

欠席者：井頭、井口、北沢、肥田

議事：

1. 前回議事録の確認

2. 一般報告事項

(a) 五十嵐委員が運営委員会の報告を行なった。

3. 評価関連事項

(a) 岸田委員が JAERI-M の章建てと担当者に付いて説明した。

(b) 五十嵐、千葉、村田、岸田の各委員が資料に基づいて JAERI-M の原稿に付いて説明した。

4. 評価最終・中間報告

(a) 岸田： ^{26}Mg , ^{28}Si , ^{29}Si , ^{30}Si , ^{40}Ca , ^{93}Nb , ^{94}Mo , ^{96}Mo , ^{98}Mo , ^{133}Cs の評価結果の報告を行った。 ^{28}Si , ^{40}Ca , を除いて File 化もほぼ完了した。ALICE-F を使用して理論評価を行っているので、MF6 に Kalbach の systematics を使用した DDX が入ってしまっているが、これは P_0 を使用した等方 DDX に変更するつもりである。ALICE-F は (γ, n) が開いたところから光核反応の計算を行うように作られているので、 (γ, α) の閾値が (γ, n) より小さいと一部理論評価が行えないエネルギー領域ができてしまう。次回会合までに修正するつもりである。

(b) 浅見 (W)：測定断面積の収集を終了し吸収断面積及び中性子放出断面積のの評価を行なっている。次回までには、理論評価を含めて ^{182}W , ^{184}W , ^{186}W の評価は終了しそうである。

5. その他

- (a) 今年度は旅費の都合で会合を2回しか開催できなかったが、評価の進捗状況を考えると、出来れば年4回、最低でも3回は開催したい。
- (b) 評価者によっては評価値を ENDF-VI format ではなく、テーブル形式で保存している場合もあるので、ファイル化の作業はできれば編集委員会の方で行ってほしい。
- (c) 来年度は評価自身はあまり行わず、ファイル化と JAERI-M の出版を主な作業とする。

6. 次回予定

- (a) 次回は平成6年6月17日(金)に原研本部で開催予定。
- (b) 主な内容は、
 - i. MF1のサンプル紹介(千葉委員)
 - ii. 一般連絡事項
 - iii. 評価結果報告(各委員)
 - iv. JAERI-M 原稿紹介(各委員)
 - v. その他

配布資料：

- PNWG-93-8 : ^{26}Mg , ^{28}Si , ^{29}Si , ^{30}Si , ^{40}Ca , ^{93}Nb , ^{94}Mo , ^{96}Mo , ^{98}Mo , ^{133}Cs の光核反応断面積評価(岸田)
- PNWG-93-9 : Structure of the Photonuclear Cross Section Data File(千葉)
- PNWG-93-10 : $\text{W} (^{182}\text{W}, ^{184}\text{W}, ^{186}\text{W})$ の光核反応データの評価(浅見)
- PNWG-92-11 : JAERI-M 章建(岸田)
- PNWG-93-12 : Photonuclear Data Evaluation at JNDC(岸田)
- PNWG-93-13 : Manuscript for JAERI-M on Photoreaction Nuclear Data WG(五十嵐)
- PNWG-93-12 : Evaluation of the $\text{D}(\gamma, \text{n})$ Reaction Cross section(村田)